

馬場馬術運動課目における頭頸の伸展動作について

2012.5.10

馬場馬術本部

平成24年度から全日本ジュニア馬場馬術大会のジュニア選手権の使用課目は「F E I ジュニアライダー個人競技馬場馬術課目2009」になりました。この課目の第6項目に「右へ直径20mの半輪乗り、手綱を伸ばして馬体をストレッチさせる」という運動があります。このような課目はこれまで日本の競技会で使用されることはありませんでしたが、今後は先進国にならって取り入れられていきます。また、この動作は馬の調教においてとても大切な動作であり、これを機会に普段のトレーニングでも練習をしていただきたいと思います。

なお、このジュニア課目は国民体育大会（少年馬場馬術競技）においても第68回大会（平成25年／東京）から使用されます。

頭頸の伸展動作（ストレッチ動作）

ストレッチ動作とは頭頸の前下方への伸展動作であり、ここで求める動作において、馬の口角の高さは肩先の高さと同じぐらいまでとする。

- ・手綱の長さは徐々に長く伸ばす。
- ・確実に馬の口とのコンタクトは維持している。
- ・その際、馬の歩法・歩調・テンポは一定である。
- ・頭頸は前下方へ伸展し、馬の口角の高さは肩先（肩関節）と同じぐらいの高さにある。
- ・鼻梁は垂直線より前方にある。（その際、馬のバランスは変わらない）
- ・頭頸の伸展動作なので、基本的に項は高い位置にはない。



© With friendly permission of the FNverlag taken from "Richtlinien für Reiten und Fahren Band 1: Grundausbildung für Reiter und Pferd"; 2005 by FNverlag; publishers for the German Equestrian Federation Co. (FN), Warendorf, Germany